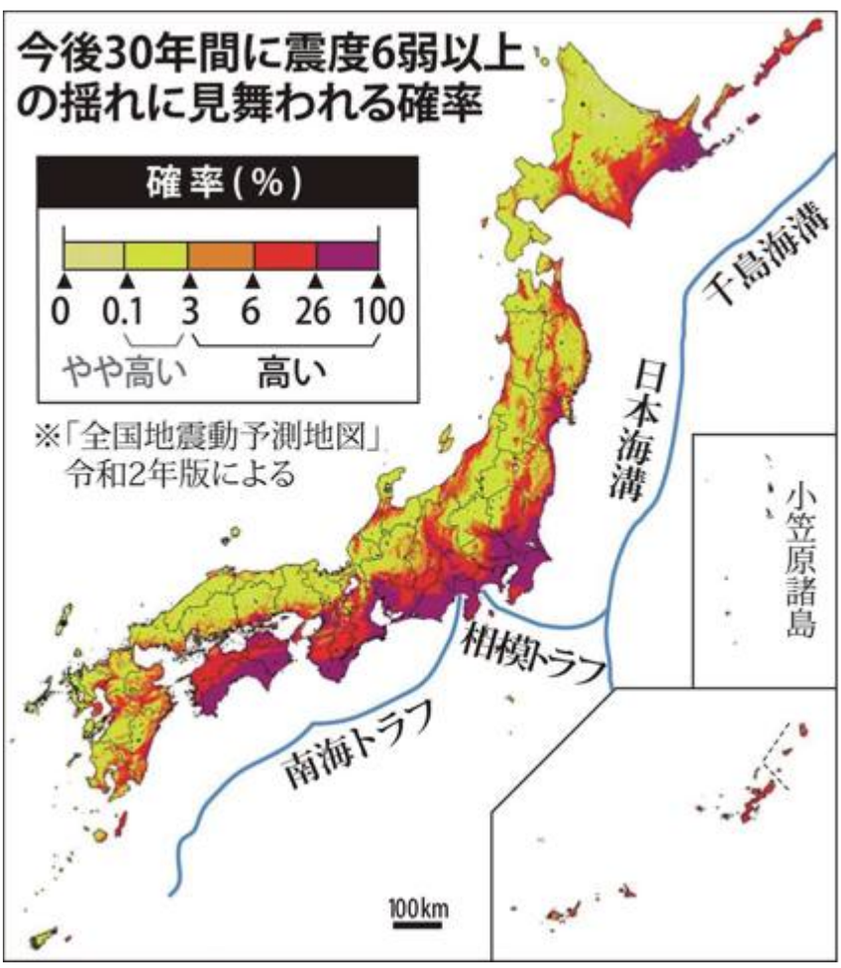
北海道教育委員会 2024 年度前期道民カレッジ講座認定（教養コース）
北海道総合地質学研究センター　第 15 回公開講座（2024 年 9 月 28 日）
後援　札幌市　札幌市教育委員会

地震予知を考える
ー能登半島地震を経験してー



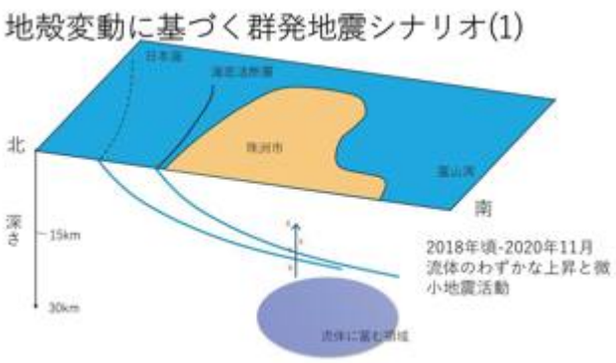
「2020 年から 30 年間に震度６弱以上の揺れに見舞われる確率」を示した地震動予測地図
「全国地震動予測地図 2020 年版」より

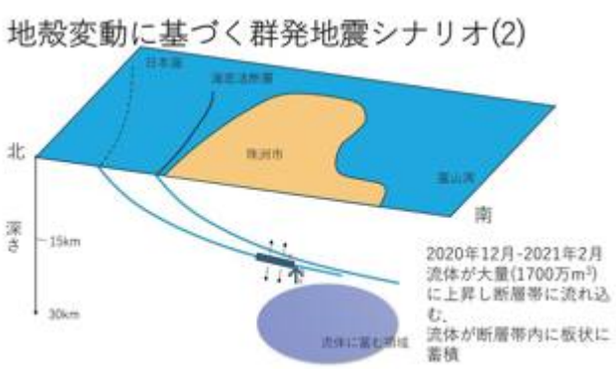
近年，地震予知の悲観論が蔓延しています．これまでの地震観測結果で，予知できそうな場合がなかったのか，地震後に検討しても短期予知のシナリオが描けなかったのだろうか．さらに，もし地震の短期予知の可能性があった場合，地震警告に役立ててきただろうか．

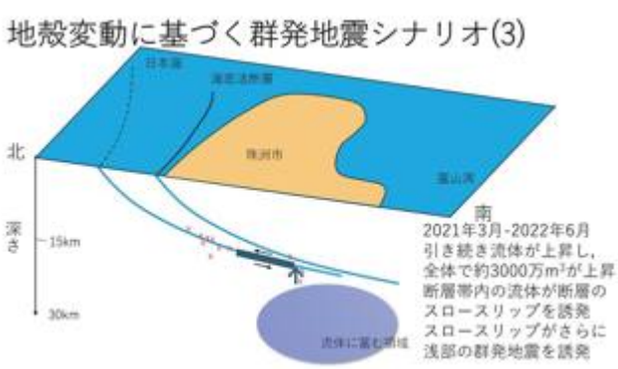
本講座では，このような問題を正面からとりあげて解説します．

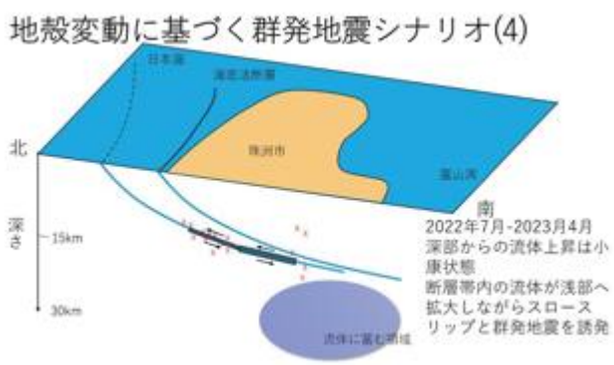
日時 /2024 年 9 月 28 日（土曜日），　13:30-15:30（13:15 開場予定）
会場 / かでる 2・7　730 研修室
北海道立道民活動センター（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
講師 / 高波 鐵夫（北海道総合地質学研究センター理事，シニア研究員）
東京大学地震研究所外来研究員，ワシントン・カーネギー研究所外来研究員
参加費 /1,000 円（大学生・高校生，会員は半額）　参加定員 /50 名（先着順で受付）
申込期限 /2024 年 9 月 26 日まで（参加人数に余裕があれば前日まで受付けます）
参加申込・問合せ先 /E-mail: office@hrcg.jp　Tel: 080-5830-2016
主催 / 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター
URL https://www.hrcg.jp
（申込まれた方の個人情報は当センターのプライバシーポリシーに従い，適正に管理いたします）

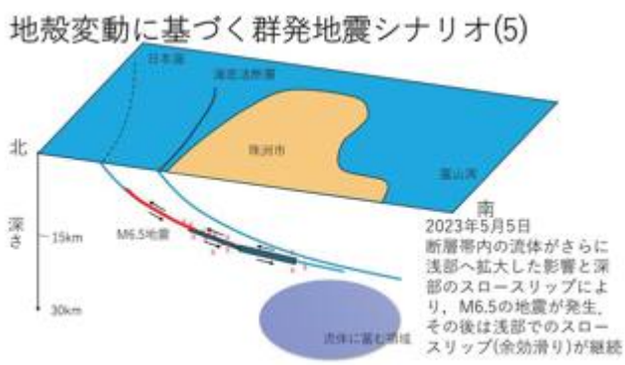
2024 年 1 月 1 日能登半島地震発生にいたるシナリオ（日本地球惑星科学連合 2024 年大会講演，「MTT37-01：GNSS の統合解析によって明らかになった 2020-2024 年能登半島地震活動に伴う地殻変動」の発表資料；京大防災研 西村卓也氏のご好意による）

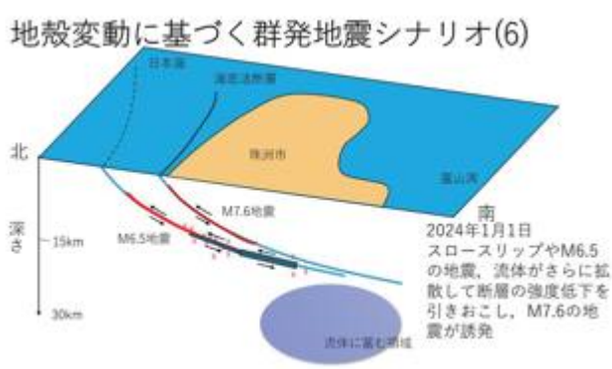












講師プロフィール

高波 鐵夫（たかなみ　てつお）

北海道総合地質学研究センター理事，シニア研究員

略歴

1945 年　中国太原市生まれ（長野市出身）

1973 年　北海道大学理学部・浦河地震観測所（現：大学院理学研究科・地震火山研究観測センター）に勤務し，定年まで地震の研究に携わる.

2009 年　北海道大学退職後，ワシントン・カーネギー研究所，東京大学地震研究所，統計数理研究所などで地震の研究を続ける.

現在　北海道総合地質研究センター理事，シニア研究員，日本地震学会会員，アメリカ地震学会会員

北海道総合地質学研究センターでは各種活動や公開講座等の情報をメールマガジン（HRCG Newsletter, 不定期）で配信しています．購読をご希望の方は office@hrcg.jp宛にお申し込みください．